

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和2年2月20日

事業所名: こどもの家すくすくえんせんたー風のこり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		1.人数が多い場面では、棚を避けて広い空間にするなど、遊びや活動の様子に応じて変化させています。 2.部屋は適切な広さになっている。大人数が使うときは、砂場・シャボン玉等遊びを分けている。 3.その日の各グループの状況を見ながら、グループの人数に極端に差がでた場合などは、人数調整するなど工夫している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		1.4人の子どもに対して一人の職員を配置するようにしているが、子どもたちの様子やクラス編成によっては、多めに職員を配置できるようにしている。 2.子どもの様子、姿によって配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		1.エレベーターや階段の手すり、トイレの手すりなどがあり、安全面への配慮はなされていると思う。物品の不備などを発見した際には、速やかに対応できるようにしている。 2.登園する子どもに応じて、道具を片付ける場所を変えて刺激を少なくしたり、一日することを流れ表を用いて示したりしている。 3.お部屋までの、導線が来てするまでの順番に配置されていて、その点も子どもたちにとってわかりやすく活動に入っていくやすくなっていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		1.机やすい、手すりなど子ども達が密に触れる場所への消毒を行っています。また、おもちゃや道具などもこまめに消毒をしています。 2.毎朝、手すりやドアの持ち手等の消毒を行っている。また、午前午後、それぞれの活動後には、イスの消毒であったり、室内の掃除を行っている。噴霧器を、1日中たたくようにしている。 3.毎日の掃除と消毒も行き届いていると思う。 4.毎回掃除機・拭き掃除、また毎朝手が触れる部分の消毒等に取り組んでいる。ただ、外観にはなってくるが窓が灰で汚れており、雨が降ってもとれずこびりついている。どうしても2Fは職員ではできない部分であり、業者の方へお願いするなどが出来ればありがたいと感じる。 5.エアコンの汚れが気になる(業者等でないとにくいような内部の所)	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		1.新人職員には指導をする職員をつけるようにしている。毎月、一か月の振り返りと次の目標を話す時間を設けるようにしている。 2.活動前の打ち合わせ、活動後には反省の時間を設けて、それぞれのグループでしっかり話す時間を設けている。 3.おろそかにならないように意識はしている 4.活動の前に打ち合わせ、終わりに反省をしています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		1.今回の評価内容に対して、説明が不足していたところなどは、すぐに話を行うなどして、対応をしています。	・保護者からの評価表について、職員全員が目を通し説明等を行うようにする。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		1.結果の一覧を職員全体で共有する場をつくり、評価の内容をしっかりと公開もできている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		1.来園指導や監査など、外部評価の結果をもとに日頃の活動に生かしたり、業務改善につなげることができていると思う。	・来園指導等の返しは、文書にして保護者に返すことができるようにしているが、期限が遅くなってしまうことがあるので、早めに返すことができるよう改善していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		1.園内研修や外部研修などの場面を通して、発達についての学び、子ども達についての関わり方などを共通理解する場を設けていると思います。 2.毎年、1年間の園内研修の計画を立て、毎月担当の職員を決めている。そして、毎月研修を行っている。外部の研修案内があった際は、職員全員に周知している。また、参加希望の職員は、積極的に参加する姿も見られる。 3.園内研修など事業所全体で学ぶ場が定期的に組まれている。 4.月に一度園内研修に参加しています。 5.毎月の園内研修や外部の研修等に参加したりしています。	・園内研修を月に1回丁寧に行う中で、自分たちで学びながら実践できていることも増えている。外部への研修へも積極的に参加し実践していく。
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		1.担当職員と、児発管の職員で子どもの様子を共有しながら計画を立てるようにしている。また、担当職員だけでなく、一緒に活動に入っている職員とも話をしながら立てるようにしている。 2.支援計画を立てる前に、保護者にお子さんについてのアンケートをとり、それを踏まえて計画を立てることができているので。 3.前期、後期の支援計画を返す際や日頃の送迎でコミュニケーションを取り、話を聞くようにしています。 4.発達検査等の結果も含めて支援計画に入れるようにしています。		
11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		1.発達検査であったり担当者会議等で子どもの様子を共有するようにしている。細かくチェックがつけられるようなアセスメントツールも準備中である。	・アセスメントツールを使い、本人の状況をしっかりと見立て、目標を設定していく。	
12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		1.支援計画を返す際に保護者の方と一緒に確認をしています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		1.子ども達に今、必要なことは何かを担当職員が他職員への伝達、共有、実施を図ることで、その子にあった支援が行われていると思います 2.支援計画を見直しながら、子どもの様子に対する課題や支援方法をその都度考えながら活動等を組み立て、支援するようにしている。 3.その子にあった支援をしたり毎回とはいかないがその子の課題に沿った活動内容を設定するように心がけています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		1.記録にきちんと残していきたいと思っています。 2.お部屋に応じて入る職員が固定していることで、前回との振り返りから次へのステップに向けた取り組みを考えながら行う事が出来る。 3.月案の内容に関しては、毎月全職員に活動内容の希望をとり、計画を立てるようにしている。各クラスでは、月案に沿った内容でクラスにあった内容をリーダーとサブの職員が話をしながら決めるようにしている。 4.一緒に入っている職員とグループのメンバーや発達を考えながら活動内容を立案している。 5.同じお部屋に入る先生と一緒に話をし、意見を聞いて活動に取り入れています。 6.入る職員全員では勤務の曜日等の関係で出来ない部分もあるものの、子どもの様子を朝の打ち合わせ、お昼の反省等で共有しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		1.子ども達が大好きな遊びを繰り返し取り入れながらも、その中に遊びの展開を加え遊びをより楽しめるように、工夫しています。 2.週を通しての活動にはなっているが、クラスによっては、子ども達の様子や課題から同じ活動を継続して行ったり、飽きないように中身を変えたりと工夫を行っている。 3.反省の中で「次はこうしてみたらどうか」などあれば次回取り入れるようにしている。 4.課題に応じて継続で行った方がいいと判断したものは少しの時間でも取り入れているが、できるだけ偏らないようにしています。	・朝の自由時間をさらに有効に充実できるように、個別活動の計画を立てていく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		1.指先を使う作業が苦手な子には、お箸を使った活動や紐通し等を取り入れたり、同じ活動を行う中でも個人によって補助の仕方を変えています。鉄棒では、足台の段数を変化させるなど。 2.子どもによっては、自由遊びの時間に個別できる遊びなどを取り入れている場合もある。また、必要な際は、その旨を支援計画にも組み込んでいる。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		1.どの職員が、どの子どもを特に見ながら行うのか、活動での配慮点を一緒に入る職員とで考えながら、活動に迎えるようにしています。 2.バスの助手になっていたり、出勤時間が異なる際は、前日などに打ち合わせをしたり、時間をずらすようにしている。 3.その日の日案をもとに、個別の対応や役割の確認を打ち合わせている。 4.活動前に事前の打ち合わせをグループごとに行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		1.必ずとはいかない場面もあるが、その日でも次の日などには話せるようにし、次への改善が出来るようにしています。 2.その都度、気づいた点などを出し合い、次の活動へとつなげることが出来るようにしている。活動に入った職員だけでは解決できない際は、児発管の先生などに相談しながら解決できるようにしている。 3.反省の中で出た内容を日案の反省欄に打ち込むとともに次週の活動の中に取り入れられるものは取り入れるようにしている。 4.行っているものの時間確保の難しい時がある 5.振り返りをして、改善すべき点やその時の対応の仕方などを話し合っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		1.日々PC入力できている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		1.児発管の職員が参加したり、担当職員も同席したりしている。	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		1.ケース内容によっては、連携を図りながら支援を進めるようにしている。		
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		1.現在、該当する子どもが在籍していない。 2.医療的ケア児がいない。 3.対象児がいません。		
24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもと主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		1.現在、該当する子どもが在籍していない。 2.医療的ケア児がいない、熱性けいれんや食物アレルギーがある児はかかりつけ医など一覧にしている。 3.対象児がいません。		
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		1.就学前には、地域で行われる連絡会に参加し、就学予定先の学校と連携を図っている。また、直接学校側に行き、様子を伝えることもある。公開保育等を通して、就園先の先生方とも話をする機会を設けるようにしている。また、必要に応じては、就園先の先生が見学に来られ、様子の共有等をすることもある。 2.保護者の方も含めて共通認識で子どもと関われるように情報共有に心がけています。		
関係機関や					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携関係	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		1.就学前には、地域で行われる連絡会に参加し、就学予定先の学校と連携を図っている。また、直接学校側に行き、様子を伝えることもある。 2.直接話をする機会が少ないかもしれないが、「夢すこやかファイル」を活用しながらその子の様子、必要な支援などをなるべく詳しく、丁寧に記すようにしている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		1.連絡会を開催し、地域の事業所の方々と一緒に学ぶ機会を設けている。 2.毎月、外部の先生の来園指導があります。	・他の事業所へ行くことや来園指導等で学ぶ機会はあるので、それぞれが学んだことを職員全体で共有できるよう、振り返りの時間を作るなどして工夫していきたい。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		1.地域の事業所の連絡会であったり公開療育等に参加するようにしている。	・偏った職員の参加にならないよう、会議の内容に合わせて参加する職員をなるべく変え、全員が同じだけ学ぶ機会を設けている。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		1.定期的な面談とは別に、母子登園の保護者や希望があった保護者とは、必要に応じて面談を行うようにしている。 2.送迎時やPCの帳面を通して、その日のうちに保護者に返すことができていると思う。 3.連絡帳でその日の様子を伝えていきます。	・連絡帳を使って、保護者と子どもの様子を共有できるようにしてはいるものの、共有できているかの分りにくさが課題である。今後、システム上でのより良い改善をできるように、その都度検討していきたい。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		1.保護者の困り感に応じての支援、助言を行っています。 2.月一回の母親教室の中で、悩みの共有をしたり、テーマに沿った学びの時間は作っている。ペアレント・トレーニングに関しては、やってほしいという保護者の声もあるので、心理士と連携を図りながら、計画を進めていきたいと思う。 3.月一回の母親教室の中で、子育てに関するお話などを保護者が気軽に聞ける場を設けている。 4.毎月、母親教室を行っています。	・掲示板に母親教室の年間計画の案内を掲示したり毎月のおたよりに載せたりはしているものの、参加に偏りが見られる。今後、おたよりがアップされた際は、それと同時に一斉メール等でお知らせをするなどの工夫をして、たくさんの保護者の方に参加できるようにしていきたい。 ・ペアレントトレーニングについては、法人の心理部と連携を図りながら考えていきたい。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		1.契約の際に、担当職員から説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		1.支援計画の裏面に、ガイドラインを印刷し、面談の際には、ガイドラインについての説明も一緒にしている。	・6か月に一回の支援計画の返しと一緒にガイドラインの説明をしているが、ガイドラインについては、保護者の方へ分かりやすくもあったので、丁寧な説明を心がけている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		1.月に1回、母親教室が実施されており、保護者同士の交流の場、悩みの共有などが図れていると思う。 2.毎年アンケート調査を行うとともに、それ以外でも相談があった場合は、必要に応じて職員が対応していると思う。 3.支援計画を返す際に面談をしています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		1.月一回、母親教室を行っている。12月ごろには、子ども達へのクリスマスプレゼントとして、保護者から子ども達へ手作りのプレゼントを作る時間も作っている。保護者同士、様々な話をする場になっていると思う。 2.毎月、母親教室をしています。	・親子療育に来ている方の参加が多い。午後のグループや分離で通っている子どもの保護者も参加しやすく、参加しなくなるような母親教室を開催していく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		1.毎月のお便り、献立表を出しています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		1.注意はしているが、入力ミスが自分でもあったので今後更に注意したい。 2.個人の記録は鍵のついた場所での保管になっています。	・連絡帳の入力ミス等がないよう、ダブルチェックで確認をするようにしている。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		1.なかなか難しいこともあると思うが、今後実施できたらと考える。 2.年一回、公開療育を行い、地域の事業所であったり保育園等が参加できる機会を設けている。	
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		1.毎月、避難訓練を行っている。地震・火災・防犯など、毎月様々な場面を想定して行っている。 2.毎月の避難訓練だけでなく近年は救命講習や防犯訓練などもあり、さまざまな状況を想定した訓練が充実しているように感じる。 3.毎月、避難訓練をしています。防犯訓練、救命講習も年に1回しています。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		1.月に1回、様々な状況を想定しての避難訓練を行っています。 2.毎月、地震・火災・防犯など、テーマを決めて避難訓練を実施している。 3.毎月避難訓練を行っています。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○		1.該当する子どもを表にまとめて、目が付く場所に掲示し確認できるようにしています 2.常に職員の目に留まる位置に該当する子どもの情報が掲示してあるので、確認しやすい。 3.表にして事務所に掲示しています。	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		1.書式はあるが、対象児がいません。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		1.ヒヤリハット等の気を付けるべきことが起こった際は、その日や次の日の打ち合わせ時に、職員全員で把握できるよう、報告をしている。 2.事例があった場合には、翌朝の朝礼で改善を含めて話がされている。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		1.法人研修の中で、虐待についての内容が毎年計画の中に組み込まれ、実施されている。	・日々、自分たちの療育についても、丁寧に振り返りながら防止に努めていく。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。